

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月24日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市西区みなとみらい二丁目3番2号

氏名 株式会社 みなとみらい東急スクエア
代表取締役社長 石川 哲也

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社 みなとみらい東急スクエア 代表取締役社長 石川 哲也			
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市西区みなとみらい二丁目3番2号			
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業		
	中分類	56 各種商品小売業		
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）		
	原油換算エネルギー使用量	2,534 kl	自動車の台数	台

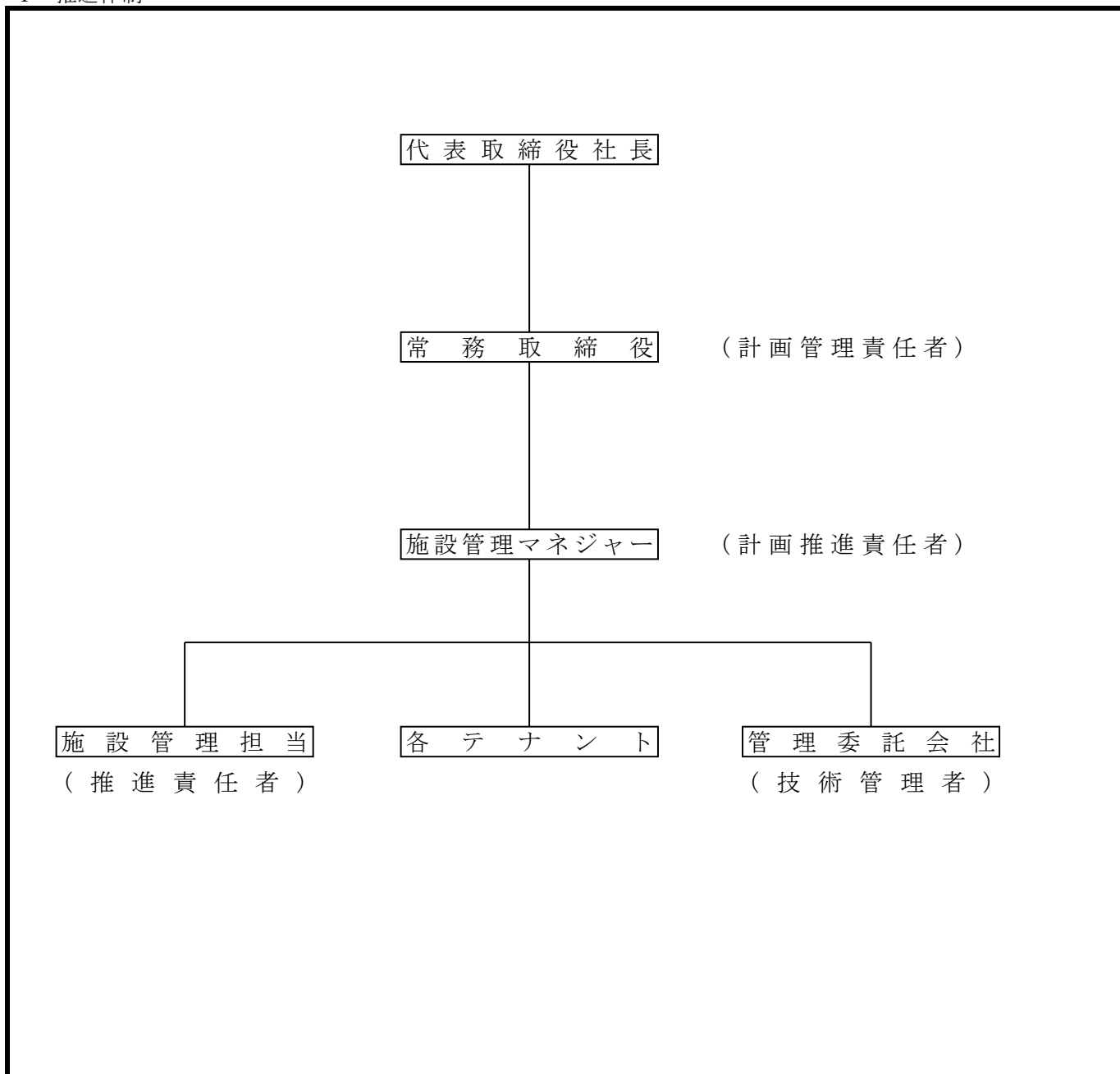
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016年度～2018年度	実施年度	2018年度
------	---------------	------	--------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>温室効果ガス排出抑制にあたっては、省エネルギーおよび資源の有効活用を最大の目標とし、当社のみならずテナントを含めた店全体が一体となって取り組む。</p> <p>社内で取り組む事項は、①温室効果ガスの少ない燃料等の利用促進、②照明・空調機器の適切な運営補修管理の実施、③新規導入機器の省エネルギー型機器の採用が中心となる。</p> <p>また、間接的な温室効果ガス排出量抑制の観点から、焼却ゴミを削減するためにゴミの分別を徹底して行い、資源の有効利用や一般廃棄物の減量を目指す。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 照明機器</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 管理している設備において、エネルギー使用量が最も大きいため</p> <p>③設備更新スケジュール 平成30年度を目指す</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	みなとみらい東急スクエア マネジメントオフィス
	所在地	横浜市西区みなとみらい二丁目3番2号
	閲覧可能時間	10時00分～18時00分
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	3,849 t-CO ₂			基準原単位	1,155.86 t-CO ₂ /千時間	
	調整後	3,801 t-CO ₂			目標原単位	1,144.30 t-CO ₂ /千時間	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	3,810 t-CO ₂	削減率	1.0 %	削減率	1.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>温室効果ガスの排出を抑制するため、下記の措置を実施する。なお、これまでも下記の措置を積極的に実施してきたため、今計画の目標値は1%とする。</p> <p>①温室効果ガス排出量の少ない地域冷暖房の使用。</p> <p>②照明・空調機器の定期的な点検・保守・補修の実施、ならびに機器運転時間・空調設定温度等を運営管理することによる機器の効率的運用。</p> <p>③照明機器新規導入時の省エネルギー型機器の採用。</p>						
事業者全体としての目標等							
第一年度 (2016年度)	排出量	3,749 t-CO ₂	削減率	2.6 %	排出原単位	1,129.22 t-CO ₂ /千時間	
	調整後	3,676 t-CO ₂	削減率	3.3 %		削減率	2.3 %
目標等の達成状況及び説明	<p>今年度は、8月に休憩室・倉庫照明の一部をLED化した。これにより、年度における使用量を約6,000kWh削減することができ、二酸化炭素排出量を約3t削減できた。</p> <p>この他にも、テナント改装による照明のLED化が進み、使用量の削減につなげることができた。</p> <p>また、空調機器を適正に管理運転し、二酸化炭素排出量を約11t削減することができた。</p>						
第二年度 (2017年度)	排出量	3,563 t-CO ₂	削減率	7.4 %	排出原単位	1,079.70 t-CO ₂ /千時間	
	調整後	3,409 t-CO ₂	削減率	10.3 %		削減率	6.6 %
目標等の達成状況及び説明	<p>今年度は、長期にわたり3階フロア閉鎖を含む大規模な改装を行ったため、電気使用量が大幅に削減された。また、改装後は多くのテナントにおいてLED化が進み電気使用量の削減に貢献した。これらの要因により年度計で電気使用量を約230kWh削減でき、二酸化炭素排出量は約110t削減することができた。</p> <p>上記の改装により空調用冷水も削減でき、年間で二酸化炭素排出量を約70t削減することができた。</p>						
第三年度 (2018年度)	排出量	4,720 t-CO ₂	削減率	▲ 22.6 %	排出原単位	1,434.65 t-CO ₂ /千時間	
	調整後	4,422 t-CO ₂	削減率	▲ 16.3 %		削減率	▲ 24.1 %
目標等の達成状況及び説明	<p>今年度は、二酸化炭素排出量が大幅に増加してしまった。理由は、商業施設の統合により管理面積が約29,700㎡から約52,900㎡へと約1.8倍に増加したことである。</p> <p>排出原単位を千時間×賃借面積(千㎡)に変更して比較すると、前年が36.35t/(千時間×千㎡)であるのに対し、今年度が27.12t/(千時間×千㎡)と約25%削減できている。要因としては、みなとみらい東急スクエア②2階を約1ヶ月閉鎖して改装していたことによる照明・空調の不使用が大きいと考えられる。</p>						
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>今計画期間内は、第三年度に商業施設統合による管理面積の増加があるため単純に比較はできないものの、概ね順調に目標を達成できたと言える。</p> <p>要因としては、期間内に大規模な改装が行われ照明・空調の使用時間が減少したこと、改装ともなう照明の撤去・LED化が進んだことが挙げられる。</p> <p>また、空調の運転時間を見直し、蒸気・冷水の使用量削減につなげることができた。</p>						

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量	t-CO ₂		基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方							
事業者全体としての目標等							
第一年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
第二年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
第三年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
計画期間全体の排出状況に関する説明							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	3,849	1	3,749	1	3,563	1	4,720
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	3,849	1	3,749	1	3,563	1	4,720

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	1/1	—	年度		売場内共用照明の一部LED化	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	非該当	非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	/	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		売場内共用照明の一部LED化	実施中	0/1	—	2018年度		売場内共用照明の一部LED化	実施中	0/1	—	2021年度		売場内照明の一部LED化
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	管理権限を有する該当設備なし	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.11 %		4,720		6.4		1.2		5					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	照明器具の更新	みなと みらい 東急 スクエア	2017	蛍光灯 40W 15台	昼間買電	3,201	kWh	1.6	LED 15W 3台	昼間買電	228	kWh	0.1	0.5	千円
				蛍光灯 20W 1台	昼間買電	116	kWh	0.1	LED 26W 4台	昼間買電	528	kWh	0.3		
									LED 36W 4台 LED 32W 5台	昼間買電	1,544	kWh	0.8		
2	照明器具の撤去	みなと みらい 東急 スクエア	2018	ハロゲン 85W 30台 10h×363日	昼間買電	9,256	kWh	4.7					4.7	千円	
														千円	
														千円	
														千円	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	298t	東京電力エナジーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	女子トイレへの節水装置の導入、自社発送荷物をグループ会社に持ち込み発送してもらうことで、CO2、排ガス排出の抑制に努めた。
計画期間内に実施する対策	設備の新規導入、更新は難しいため、各機器の管理・運営を適切に行い、地球温暖化の防止に努める。
第一年度実績	基準年度までの対策および計画期間内に実施する対策を継続実行した。
第二年度実績	ゴミを捨てる際のルールを事務所、テナント店長会で周知させ、ゴミ排出量の削減に努めた。
第三年度実績	基準年度までの対策および計画期間内に実施する対策を継続実行した。

14 実施状況等に対する自己評価

今年度は照明器具の更新をすることはできなかったが、照明器具を撤去することにより二酸化炭素排出量を削減することができた。
